

豊かな狛江をつくる市民の会通信

豊かな狛江

豊かな狛江をつくる市民の会

狛江市東和泉1-1-18 いづみ荘103号室
新日本婦人の会狛江支部気付
連絡先：080-5084-1821（前土肥）
郵便振替口座番号 00140-3-727253

第278号（2023年9月号） / 2023年9月1日発行

市議会傍聴で市政ウォッチしよう

市議会第3回定例会（8/31～10/5）

2022年度の決算を中心とした市議会第3回定例会が始まります。市民の知らないところで、あるいは形だけ広報やホームページに載せて、市民の意見は聞いたとして進めていく行政のやり方が目に付いています。図書館分割移転を筆頭に、まちづくりや市民参加だった行事がいつの間にか行政主導で進められていくのを感じられているみなさんも多いのではないのでしょうか。議会が行政の監視役になっているとは言いがたい状況もあります。議会を傍聴し、議会でのやり取りの中でどんなことが進められようとしているか、しっかり監視し、おかしいことはおかしいと市民の声を上げていきましょう。議会だけでは通らないことは市民の運動で実現させていきましょう。

議案は2022年度決算、一般会計ほかの補正予算ですが、一般質問で市民センター改修・新図書館問題、学校給食費や医療費無料化、市民生活支援、教育環境整備など市民要求、まちづくりについて豊かな会が推薦する市議が市長に質す予定です。

一般質問は9月7日から

一般質問の順序と通告は議会事務局のホームページに掲載されています。本会議・一般質問はインターネットでライブ中継されますので、自宅からの傍聴も可能です。

議会事務局の電話 03-3430-1128

日時	開会	開催場所	内容
8月31日(木)	午前9時	議場	本会議(初日)
9月7日(木)			一般質問(岡村しん、宮坂良子、西村あつ子、荒木てつ各市議)
9月8日(金)			一般質問
9月11日(月)			一般質問
9月12日(火)			一般質問
9月14日(木)		第2委員会室	総務文教常任委員会
9月15日(金)			社会常任委員会
9月19日(火)			建設環境常任委員会
9月25日(月)		議場	決算特別委員会
9月26日(火)			決算特別委員会
9月27日(水)			決算特別委員会
10月4日(水)		第2委員会室	議会運営委員会
10月5日(木)		議場	本会議(最終日)

図書館の分割・移転、このまま進めていいのですか？

ちょっと待つて図書館移転連絡会 周東三和子

「ちょっと待つて図書館移転連絡会」では、8月23日（水）12時から13時、市役所前、26日（土）16時半～17時半、狛江駅北口でビラの配布と宣伝、署名を行いました。ビラの受け取りも良く、プラスターを見て「2年も休館なの？」とビラを受け取りに来たり、分割素ものを知らなかったという市民もまだまだいるということに改めて驚かされました。

また、市民には知らされていませんが、教育委員会での情報や議員への説明で、図書館を2年間休館する間の一部機能保持のために、市役所1階のジャックポットを来年4月1日から閉鎖して使うということが示されました。

それができるのであれば、今後も図書館として使えば良いではありませんか。そうすれば現在地で図書館を充実させる方法はいくらでもあります。

市の基本方針策定の根拠が示されないまま市民の意見を無視して進めている市民センター改修・新図書館建設には反対の声を上げ続けましょう。

図書館分割で良いのか？市民集会

10月22日（日）10時～12時

中央公民館ホール

主催：ちょっと待つて図書館移転連絡会

第2回 PFAS 学習会開催 関心高く40人が参加

PFAS 汚染の実態を明らかにする狛江の会 重国たけし

8月3日、「PFAS汚染の実態を明らかにする狛江の会」は、2回目の学習会を公民館講座室で開催しました。定員いっぱいの40人の参加で、関心の高さがうかがえました。

講師の根木山幸夫さん（多摩地域の有機フッ素化合物〈PFAS〉汚染の実態を明らかにする会共同代表）から、発がん性などが指摘されるPFASが地下水などを汚染していることについて、①アメリカ、多摩地域、沖縄での汚染の実態と市民の取り組み・行政の対応、②多摩地域の最大の汚染源とみられる米軍横田基地をめぐる問題、③多摩地域650人の血液検査の結果などについて報告が行われました。



根木山さんは、血中濃度の高い人への医療的ケアや、浄水場に浄化装置をつけさせること、汚染源をなくしてきれいな地下水を取り戻すためにも米軍横田基地への立ち入り調査が欠かせないと指摘しました。

狛江の実態については、「狛江の会」の重国か



ら、狛江でも10年以上前から基準値を超えるPFASが井戸水から検出されており、影響を知るために血液検査と井戸水調査を進めてきたことなどが報告され、岡村しん市議（日本共産）、平井里美市議（無所属）からは議会での質問をもとに、狛江市の対応について発言がありました。



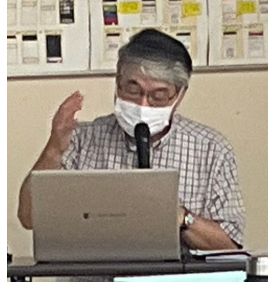
これらを踏まえ、疑問や意見などが活発に出し合われました。「わかりやすかった」、「子どもや孫への影響が心配」、「新しい情報が出たら知らせ

てほしい」などの感想が出されました。

以下では、講師の根木山さんの報告の概要を紹介します。

汚染源の特定と健康ケアや除染対策、米軍横田基地の立入調査が急務

アメリカなど各国で問題となっていたことから、3年前から準備をはじめ、昨年、多摩地域の有機フッ素化合物（PFAS）の実態を明らかにする会を正式に立ち上げ、京都大学の原田先生の協力を得て11月から18会場で多摩地域の計650人の血液検査などに取り組んできました。6月には狛江市を含めた200人の追加検査を行ったところです。



アメリカでの基準強化と日本の対応

アメリカでは、20年以上前から被害者のたたかいがはじまり、PFASメーカーのほか軍事基地の泡消火剤からの汚染があきらかにされ、政府に浄水設備設置などの対策を取らせたところもあります。

PFASの規制強化を公約に掲げたバイデン氏が大統領に当選したことも対策前進の契機となっています。アメリカ環境保護庁（EPA）は「PFAS戦略ロードマップ」を作成し、基準の厳格化をすすめています。州政府が行うPFAS汚染対策などへの支援として約1兆円の基金が飲用水対策として予算化されています。強制力のある規制値（PFOSとPFOAの合計）は、水一リットル当たり70ナノグラムから4ナノグラムに大幅に強化されます。

日本では、科学的な独自研究がないまま、20年3月にアメリカの基準をもとに50ナノグラムを暫定基準としました。今回、アメリカで基準値が強化されるもとの、日本の対応が問われています。

一方、アメリカ政府は、国内対策に取り組む一方で、在日米軍基地については、沖縄でも本土でも、汚染の事実も認めないし情報も出さずじまいでした。

多摩のおいしい地下水は地域の宝

多摩地域では各地で地下水を「おいしい水」として地域の宝としてきました。これが汚染され、「飲んではいけない水」となったのです。10年以

上にわたって、現在の暫定基準値を上回る地下水を水道水にブレンドしてきたことがあきらかになっています。狛江市でも2019年に浄水場の井戸から79ナノグラムが検出されています。23年1月の段階で都内で取水停止となっているのは、11カ所34本の井戸です。

また、水源井戸とは別の非常などの個人や公共施設などの井戸からは、東京都環境局の調査で、立川市で暫定目標値の12.8倍となる640ナノグラムが出ているほか、狛江市でも410ナノグラムが検出されています。

米軍横田基地の泡消火剤の流出と周辺の実態

米軍横田基地の消火訓練施設では野外でPFASを含む泡消火剤が使われてきましたが、風に乗って拡散され、広く土壌が汚染されたとみられています。また、3000リットル以上の泡消火剤が基地内のタンクから漏れていたこともあきらかになっています。これは、つい最近になって防衛相が公式に認めました。少なくとも、米軍横田基地が最大の汚染源の一つであることは多くの関係者が指摘しています。

地下水の動きは未解明のことも少なくありませんが、50メートルより浅い地下水では南東方向に流れていることが推定されています。



多摩 PFAS の会の発足と血液検査

「多摩の会」は昨年8月に発足し、学習会、血液検査などに取り組み検査結果を6月に公表しました。全米科学工学医学アカデミーではPFASの合計が血清濃度で一ミリリットルあたり20ナノグラムを超えた場合、脂質代謝異常や甲状腺ホルモンの検査、腎臓がん、精巣がん、潰瘍性大腸炎の症状についての健康評価を行うべきとしています。多摩地域の調査では、PFOSとPFOAの合

計で20ナノグラムを超えた人が650人のうち119人・27.5%、4つのPFASの合計では300人・69.2%でした。

多くの人が健康影響への注意が必要な状況ということがわかり、社会医療法人社団健生会などの協力のもと、「PFAS相談外来」が立ち上げられました。

国分寺市では、市民全体を対象にした血液検査をしてほしいと市に求めて署名運動も行われています。血液検査の結果公表により多摩地域のPFAS汚染が大きく注目され、世論を大きく動かしています。

沖縄では、血中濃度検査や基地周辺の学校の土壌から米国の基準値との比較で高い値が検出されています。沖縄県や地元市町も基地への立ち入

り調査を求め、基地周辺でのボーリング調査もすすめられています。

安全な水を——国・都への要求

行政の責任で、希望する住民の血液検査や広範な井戸水調査を行い、実態を明らかにすることが欠かせません。そして、血中濃度の高い人への医療的ケアや、浄水場に浄化装置をつけさせることも必要です。

全国でPFAS汚染があきらかになっているもので、汚染源をなくしてきれいな地下水を取り戻す取り組みを、全国的な運動に発展させていきたいと考えています。

原爆記念日に黙祷を市民に呼びかけた方が良いのでは

我が家では毎年8月6日、9日の原爆記念日にテレビの前で画面に合わせて黙祷をしてきました。今年は、ふと「狛江市では市民に呼びかけているのだろうか?」と心配になりました。やはり心配していた通り、呼びかけてはいませんでした。ホームページで調べてみると「市の平和政策」としては①「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2023」作品募集 ②狛江市平和都市宣言 ③平和首長会議 の3つが書かれています。

そこで「他市ではどうだろう?」と近隣の市区を調べてみました。主なものは以下の通りです。

【調布市】

広島、長崎への原爆投下により犠牲者となった方々のご冥福を祈るとともに、戦没者を追悼し平和を祈念するため毎年8月6日、8月9日、8月15日に黙とうの呼びかけを実施しています。

また、東京空襲で犠牲となられた方々を追悼するため、東京都平和の日である3月10日にも黙とうを実施しています。

今年度は、中学生被爆地平和派遣事業に参加する中学生(ピースメッセンジャー)の声で呼びかけを行います。

【小金井市】

市民参加の「平和行事参加の旅」で広島、長崎

を訪問

【日野市】

黙祷は以下の日に呼びかけている。

広島原爆投下の日	8月6日 午前8時15分
長崎原爆投下の日	8月9日 午前11時2分
終戦の日	8月15日 正午
東京都平和の日	3月10日 午後2時

【国立市】

「8月6日と8月9日、原爆の日を忘れないための一行のコトバ」募集

【多摩市】

黙祷：3月10日、8月6日、8月9日

【杉並区】

広島平和学習中学生派遣事業

【川崎市】

事業者代表者へのお願い

8月6日・9日「原爆の日」平和記念黙とう等について

やはり他の市区と比べて狛江市の取り組みは弱いように感じます。市民からの働きかけが必要だと思います。(岩戸南 小俣三郎)

9月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。
 ※本紙に折り込んでほしいピラなどがありましたら、320部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(日) 13時30分～	狛江エコルマ ホール	こまえ平和フェスタ2023 「明日が今日より平和になる ように」	こまえ平和フェスタ実行委員 会
3日(日) 中止	狛江駅前広場	Silent Standing は中止しま す。	《平和憲法を広める狛江連絡 会》《こまえ九条の会》
8日(金) 10時30分～	みんなの広場	「豊かな狛江」10月号 編集会議	
9日(土) 15時～16時	狛江駅前	9の日行動 = 駅前署名・宣伝行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民 実行委員会
21日(木) 14時～16時	中央公民館 第2会議室	《平和憲法を広める狛江連絡 会》《こまえ九条の会》合同世 話人会	新しい方の参加大歓迎です。
21日(木) 14時～16時	東京土建狛江 支部会館	こまえ社保協事務局・役員会	各加盟団体の皆さんは、ご出 席ください。
25日(月) 14時～16時頃	みんなの広場	豊かな会拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎で す。
26日(火) 9時30分 ～11時頃	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』 10月号の製本・仕分け作業	
27日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》 の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支 部などが中心。第4水曜日。



2024年度から使用の小学校教科書の採択 結果と感想

和田哲子

8月5日午前10時から途中1時間の昼休みを挟んで午後3時10分まで教育委員会第8回定例会で来年度から使用する小学校教科書の採択が行われました。場所は防災センター4階会議室。結果は以下の通りです。13種目のうち4種目で変更がありました。()内は現在使用中のもの。()なしは変更のなかったもの。英語は現在使用中の学校図書が撤退したためですが、他の3種目はなぜか東京書籍からの変更でした。結果としてより好ましいものになったと思われるのでよかったとも思うのですが、常々辻村議員が議会でも「不正事件を起こしている会社のものは選ぶな」と発言し、市民アンケートでもそのメンバーからと思われる意見もあったことを見ると、その影響もあったのかなと感じました。これ自体は正しいことですからとやかくいうことではないのですが。

国語・光村図書出版 書写・光村図書出版
社会・日本文教出版 地図・帝国書院
算数・学校図書 理科・東京書籍 生活・光村図書出版(東京書籍) 音楽・教育芸術社
図画工作・日本文教出版 家庭・開隆堂出版(東京書籍) 保健・光文書院 英語・三省堂(学校図書) 道徳・Gakken(東京書籍)

■とても熱心な議論

回を重ねるごとに委員さんたちの議論は熱心さを増していて、今回初めて採択に係わる新人の女性2人も熱心に教科書を読み込んで来ているらしいことが感じられました。

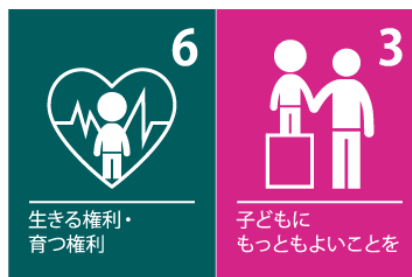
社会、生活、道徳では発言が2巡3巡してもなかなか絞りきれず、時間を取って教科書を見直すという場面もありました。ただそんなに決めかねているときにも説明役として出席している選定協議会の会長、副会長に「現場としてはどれがよいでしょうか」という意見を求める

ことはありませんでした。それまでの議論の中でも現場からの意向を踏まえた発言はなく、ひたすら自分が検討したことの意見を述べるばかりでした。「教科書採択は教育委員の仕事」と思い込んでいるようで、熱心さがかえって恐ろしいと感じられました。

■実際に使う先生方の意向が活かされるような仕組みを

もっとも、現場の意向を尊重しようにもできにくいのが現在の仕組みです。かつては学校ごとに選んで使っていたものが教科書の無償措置と抱き合わせで広域採択になり、各学校が希望を出しても必ずしもかなえられるとは限らないことになって先生方の教科書への関心は薄められていきました。現在の狛江市の仕組みでは一応各学校からと、教科別調査研究委員会からの資料を基に、市民アンケートも参考にして選定協議会が最終資料を作って教育委員会に答申し、それを基に教育委員会で採択をすることになっていますが、その書式には厳しい制限があつて、各教科書の違いなどは分かりにくいものになっています。委員さんが参考にしようにも難しいのが現状です。本当はかつてのように各校採択に戻すのが最善ですが、せめてもっと現場の意向が伝わりやすい資料作成ができるように改善して貰いたいし、先生方にそのことを強く主張して貰いたいと思います。

傍聴者は約30名、出版社関係と市民ほぼ半々か出版社の方がやや多いか、という感じでした。



子どもの権利
条約ロゴ

むいから民家園事業 「むかし 狛江で」を終えて

西尾 真人

市教育委員会主催により、むいから民家園で「むかし 狛江で」が7月29日（土）午前10時～12時に催されました。実施者は「紙芝居『戦争と狛江の子ども達』継承グループ&こまえ平和フェスタ実行委員会」といういささか長たらしい団体（私もその一員）ですが、右図のプログラムに沿って紙芝居等を行いました。

猛暑日で人が集まるか危ぶんでいましたが、子ども4人に大人が12人、関係者を入れると30人を超え、茶の間（板張り）と和室2部屋を開放して、ちょうど良いぐらいになりました。来園者の中には「狛江むかしね」の作者の一人である春山美恵子さん、「狛江おはなしの会くーすけ」の小林弥栄子さんが参加され、最後まで聞かれています。

出し物は紙芝居「戦争と狛江の子ども達」をはじめ、狛江にちなむ3作品の紙芝居、戦争にちなむ多彩な絵本、多摩川を題材にした朗読、色々な歌あり、手遊びあり、虫の声のクイズありと多様な催しでした。

風通しの良い古民家で、市から麦茶の差し入れもあり、さわやかな2時間を過ごせたと思います。

今後も紙芝居の継承活動を続けていきます。むいから民家園の企画参加をはじめ、狛江の空襲記念日5月25日近傍での駅前ライブ上演、公民館行事への参加、学校への紙芝居普及とその協力、老人会等への上演活動と戦争体験の掘り起こしなどを考えています。皆様のご支援をお願いいたします。



こまえ
むかし 狛江で
むいから民家園にて
7月29日午前10～12時
司会・進行 大熊 啓（こまえ平和フェスタ実行委員長）

=第1部=

- みんなのうた 大熊 啓
- 紙芝居「カッパのクー助」 小川泰子
- 絵本「ぼくがラーメンたべてるとき」 長尾眞木
- 手遊び 長尾眞木
- 絵本「タケノコごはん」 佐久間 均
- 朗読「多摩川の虫捕り」 土屋嘉子
- 紙芝居「こまえのきつね」 西尾真人
- リクエスト

=休憩 5分=

=第2部=

- むかしのうた 大熊 啓
- 紙芝居「戦争と狛江の子ども達」 広木澄子 奥石あけみ 加藤素子 本多廣子
- 絵本「へいわとせんそう」 本多廣子
- 絵本「おしっこぼうや」 土屋嘉子
- リクエスト
- 合唱 大熊 啓

=おしまい=






紙芝居「戦争と狛江の子ども達」継承グループ&こまえ平和フェスタ実行委員会



第18回

こまえ平和フェスタ2023

あした きょう へいわ
明日が今日より平和になるように



岡田雅枝

9月3日(日) 13時30分～
狛江エコルマホール

☆メイン講演：子どもたちの未来
に核兵器のない世界を

講師：前川史郎さん

☆戦争体験を語り継ぐ朗読劇

「戦争と狛江の子ども達」

☆平和フェスタ合唱団

「虹をつなぐ」「折り鶴」「水と緑のまち」

☆展示企画 ホワイエにて

主催：こまえ平和フェスタ実行委員会

狛江の自然



ヤマトシジミ

7月号で紹介したササグモがいたノジギクに、ヤマトシジミがやってきて一休み。人家周辺で最もよく見られる小さなシジミチョウ。翅（はね）の表面はやや光沢のある水色で、裏面には灰色地に黒い斑紋が散りばめられている。

幼虫の食草であるカタバミの周辺を、地面すれすれにチラチラ飛んでいることが多い。西河原公園でもたくさん飛び回っていた。

（中和泉 周東三和子）